



統計スポット情報

No. 30

11.9.30

福井県総務部情報政策課

拡大する大規模小売店舗

最近、大規模小売店舗（以下「大店舗」といいます。）を利用した町づくりの動きがありますが、地域の中小的商店との共存をどのように進めるかが課題となっています。

平成9年6月1日現在の大店舗数は、204店舗で平成6年に比べ46店舗の増加となりました。

大店舗内の小売商店数は1,051店（対6年比19.0%の増加）、年間販売額は2,861億円（対6年比20.0%の増加）、売場面積は428,484㎡（対6年比34.5%の増加）となっています。

（注）本表の大規模小売店舗とは、1つの建物の店舗面積が500㎡を超える店舗です。

また、平成12年6月1日施行の「大規模小売店舗立地法」での基準面積は1,000㎡となっています。

年間販売額の約3割、売場面積の約4割は大店舗内小売商店

小売業全体のなかに占める割合をみると、商店数は9.0%ながら年間販売額は28.0%、売場面積は40.2%となっており、これを6年と比較すると、商店数で1.8ポイント、年間販売額で4.1ポイント、売場面積で9.7ポイントそれぞれ上昇しています。

大店舗数、大店舗内小売商店数および年間販売額、従業者数、売場面積

	平成6年	平成9年	伸び率(%) 9年/6年	小売業に占める割合(%)	
				6年	9年
大店舗数(店)	158	204	29.1		
大店舗内 小売商店数(店)	883	1,051	19.0	7.2	9.0
大店舗内 年間販売額(億円)	2,385	2,861	20.0	23.9	28.0
大店舗内 従業者数(人)	8,406	10,052	19.6	16.2	19.9
大店舗内 売場面積(㎡)	318,517	428,484	34.5	30.5	40.2

資料：『平成9年福井県の商業』

拡大を続ける1店舗当たりの売場面積

1店舗当たりの売場面積は、大店舗集計が始まった昭和57年調査以降拡大を続けています。

（注）売場面積には、飲食店やクリーニング、DPE取次店などのサービス業を営む店舗は含みません。

1店舗当たりの売場面積

